



岡本太郎《黒い太陽》 1980年

大版画

上田市立美術館コレクション展Ⅳ
～大版画に挑んだ作家たち～

上田市立美術館
2.23THU - 4.16SUN

〔休館日〕毎週火曜日 〔開館時間〕9:00～17:00(最終入館16:30)

〔観覧料〕一般300円(団体250円)、高校・大学生200円(団体150円)、小中学生100円(団体80円)

※同時開催の「白井ゆみ枝 上田全天氣候展」の観覧券でも入場可

大版画

上田市立美術館コレクション展Ⅳ
～大版画に挑んだ作家たち～

岡本太郎、池田満寿夫、東山魁夷、カシニョール、カトランなどが挑んだ巨大リトグラフ「大版画」。水と油が反発する原理を利用したリトグラフは、版画の中でも工程が複雑な上、巨大な作品を制作できるアトリエは世界にも少なく、世界最大級の版画を制作する技術を確立した長野県坂城町の「森工房」には、国内海外から著名な作家たちが制作に訪れました。今回のコレクション展では、森工房で制作され当館が収蔵する大版画を展示します。



ジャン・ピエール・カシニョール《午後の森》1988年



ベルナル・カトラン《大きな黄と黒の静物》1990年

【関連イベント】美術館2階展示室 各13:30～(約45分) ※事前予約不要(要観覧料)

◆「森工房」での巨匠たちの作品制作にまつわるエピソードを伺います。

2月25日(土)「森工房」を主宰した故・森仁志氏の妻・林栄子さん

3月20日(月・祝)「森工房」で修業し、現在「梅田版画工房」を主宰している梅田明雄さん



山本鼎《支那の女》1912年



山本鼎《支那婦人》個人蔵 1917年

関連展示

山本鼎の「版画・版木・下絵」

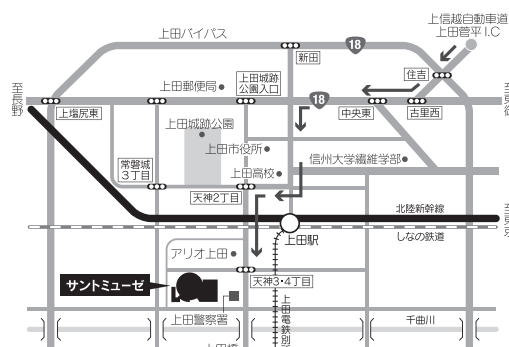
版画が芸術作品として仕上がるまでには、その元になる下絵や版木が存在します。日本近代版木の創始者として知られる山本鼎。彼がどのような光景を描きとめ、どこに注目して版画という作品に仕上げていったのか。作品に至るまでの試行錯誤の様子を、版画の下絵・版木・作品の3つを見比べることで迫ります。

◆ギャラリートーク(美術館2階展示室)

学芸員が山本鼎の作品制作時の工夫について解説します。

2月25日(土)、3月20日(月・祝) 各15:00～(約30分)

※事前予約不要(要観覧料)



《アクセス》・上信越自動車道「上田菅平IC」から車で約15分
・北陸新幹線、しなの鉄道、上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分

サントミューゼ 上田市立美術館

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号

TEL0268-27-2300 <https://www.santomyuze.com/>